

さくら国際高等学校の評価（平成24年度）について（概要）

趣旨

さくら国際高等学校は、構造改革特別区域法に基づき上田市が認可を行い、株式会社立の学校として平成17年10月1日から開校しています。

開校後は、特区法に基づき、学校教育関連法令を踏まえて、学校経営の公共性、継続性・安定性の観点から、学校の教育、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、上田市が毎年度評価を行い公表する必要があります。

よって、法の趣旨を踏まえ、学校の教育の状況などについて評価を行い、評価結果を公表することで、学校の透明性を確保するとともに、学校の教育の質の向上を図ります。

評価項目

評価項目は、学校の特色にも配慮しながら、学校経営の公共性、継続性・安定性の観点から評価できるよう次表のとおりを設定しました。

評価項目		評価における観点
1 教育の状況	(1)教育課程等の状況	ア 学校教育目標や生徒の状況を踏まえて教育課程を編成しているか。
	(2)学習指導等の状況	ア 添削指導を適切に実施しているか。
		イ 面接指導を適切に実施しているか。
		ウ 個に応じた指導が行われているか。
(3)生徒指導の状況	エ 単位認定を適切に実施しているか。	
	オ 生徒の履修状況等を適切に管理しているか。	
(4)進路指導の状況	ア 学習への意欲や基本的な生活習慣などを向上するための指導が行われているか。	
2 組織及び運営の状況	(1)組織運営の状況	ア 生徒の状況に応じた進路実現に向けた指導が行われているか。
	(2)学校評価の状況	ア 教職員の役割分担が明確になっているか。
		イ 自己評価における目標設定の状況はどうか。
		ウ 自己評価に至るまでの取組状況はどうか。
	(3)学校に対する生徒・保護者の意見要望等の状況	ウ 学校関係者評価への取組状況はどうか。
		ア 生徒・保護者からの意見等を取り入れる機会を設け、意見等に適切に対応しているか。
(4)学校に関する情報提供の状況	ア 保護者に対して、学校の情報を適切に提供しているか。	
	イ 学校周辺の地域に対して、学校の情報を提供しているか。	
(5)地域との連携の状況	ア 地域の教育資源や人材を活用しているか。	
(6)設置者の状況	ア 学校運営に当たって、経営は安定しているか。	
	イ 業務状況書類等を学校関係者が閲覧することができるか。	
3	施設及び設備の状況	ア 施設及び設備の状況はどうか。

評価の対象

今回の評価は、平成23年度評価を踏まえ、これまでの学校の教育、組織及び運営並びに施設及び設備の状況を評価の対象としました。

上田市通信制単位制高等学校評議委員会からの意見聴取

評価に当たっては、平成24年12月18日に上田市通信制単位制高等学校評議委員会を開催し、教育効果や地域交流の推進等の観点から意見を聴取しました。

(敬称略)

氏名	選出区分等	備考
野原 光	長野大学 学長	会長
大口 義明	塩田地域学校支援運営協議会 会長	副会長
窪田 善雄	上小高等学校長会 会長（上田東高等学校長）	
小松 勉	西塩田自治会連合会 会長	
坂口 みゆき	卒業生保護者	
浪方 圭三	上小中学校長会 会長（第三中学校長）	
山内 静治	別所温泉魅力創生協議会 会長	

評価の結果（抜粋）

評価項目		評価結果
1 教育の状況		
(1) 教育課程等の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程に特別な教科・科目は設けられていないが、指導面における生徒の「学び直し」を意識して、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させることに重点を置いて指導を行うよう徹底されていることは、本学校の特徴であると考えます。 ・各自のニーズに応じた学習方法を選択することができる体制となりつつある。 ・新学習指導要領が年次進行で実施されるに当たり、履修登録状況等が適切に管理できるよう引き続き準備を進めていく必要がある。
(2) 学習指導等の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・入学前の個別面談や学習相談によって、生徒の状況を把握した上で、入学後、生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導・支援が行われていることは、本学校における教育の最も大きな特色である。これが学習の継続的な動機付けの一つとなり、多くの生徒を卒業に導いていると考える。 ・添削指導において、返却するレポートに学習の手掛りを加えることは、生徒が学習のつまづきを改善し、試験等に向けて学習に取り組む手助けになっていると考える。 ・面接指導は市内にて実施され、毎年相当数の生徒が市内に滞在し指導を受けていることから、経済的効果にも寄与していると評価する。面接指導時間数の一部免除も認められているが、今後もより多くの生徒に面接指導が行われることを期待する。 ・添削指導、面接指導及び試験の実施に当たっては、国からの通知内容にも留意しながら、添削指導回数や面接指導時間数等を遵守し、引き続き教育の質を確保していく必要がある。
(3) 生徒指導の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の状況を正しく把握するため、入学前から生徒本人と個別面談を行うなどの工夫が図られている。本校においては、保護者との連携を図り、生徒との接点を多くもつことで、生徒の適性を発見し、その能力を引き出そうと日々努力されている。 ・今後においても、生徒の状況把握の工夫に努め、教職員全体でその状況についての理解を共有し、組織的な指導が行われることを期待する。
(4) 進路指導の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は大学等への進学や就職などの進路を見つけることができおり、この地域における人材の育成の一端を担っていると考える。 ・引き続き、生徒一人ひとりの個性や特性を尊重しつつ、より多くの生徒が希望する進路に進めるよう指導の充実を図られることを期待する。
2 組織及び運営の状況		
(1) 組織運営の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数が増加傾向にあることから、校内の連絡調整を密にし、教職員間の情報共有を更に進めていく必要があると考える。
(2) 学校評価の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度自己評価は、本学校の特色に応じた、教職員全員が意識して取り組むことのできる重点目標が設定され、次年度に向けての改善策や向上策の検討が行われており、より実効性のある取組に改善されていると評価する。 ・評価結果は、適切な方法をもって公表されるよう求める。 ・学校関係者評価の実施について検討されることを期待する。
(3) 学校に対する生徒・保護者の意見要望等の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者からの意見要望を把握し、適切な対応を行うことに努められ、生徒・保護者以外の地域の方等からの意見の把握にも努められている。 ・本校における来客者への対応や電話対応などは非常に丁寧であり、生徒の模範となる対応であることから、今後も継続されることを期待する。
(4) 学校に関する情報提供の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・丸窓電車の保存や新校舎における工夫等は、学校の情報を積極的に発信し、開かれた学校づくりを進めようとする姿勢がうかがえる。 ・ホームページの活用をはじめ、保護者や地域に学校に関する情報を積極的に提供することで、家庭・地域の連携協力による学校づくりを進められることを期待する。
(5) 地域との連携の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な地域住民との交流や地域の教育資源を活用した体験学習を通じ、生徒は自分の力が必要とされていることを確認し、社会に適應できるコミュニケーション能力を身に付けることができていると考える。 ・学校と地域の交流は、本学校の教育活動における特色の一つであり、教育特区に掲げる社会的効果（学校内にコミュニティを作ること）にも寄与しているものと評価する。 ・今後においても、地域との連携協力を図り、教育活動の成果を高められることを期待する。
(6) 設置者の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社は複数事業を展開することが許容されているが、本学校の設置者においては学校運営を他事業部門に依存することやその業績に左右されるなどの懸念はないと考える。 ・決算状況等も踏まえて判断すると、学校経営における安定性は引き続き確保されていると考える。 ・今後においても、生徒・保護者や地域との信頼関係の構築を図るなど、生徒数の確保を図るとともに、経費節減にも努め、引き続き健全な運営を図っていく必要がある。 ・会社の業務及び財産の状況を記載した書類の閲覧等の請求に応じることができる状況にあり、法令上の要件を満たしている。
3 施設及び設備の状況		
(1) 施設及び設備の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・校地・校舎は市からの借用であるが、新校舎の建設や中庭の整備を行うなど、教育環境の向上等を図る積極的な取組について評価できる。

総括

全体としては、今後取り組むべき課題はあるものの順調に運営されていると評価するが、教育特区事業においては学校教育関係法令等の遵守徹底が求められていることから、今後更に教育の質の確保や健全な運営に留意しながら、生徒が個の確立を達成し、社会的な自立へ向けて確かな一歩を踏み出していかれる学校教育活動が継続して行われることを期待します。